

第34回京都市小学校「大文字駅伝」大会

報告書



～都大路の風になれ～

第34回京都市小学校「大文字駅伝」大会実行委員会



目 次

●出場校一覧	P. 1
●概 要	P. 2
●結 果	P. 3
●ランニング教室.....	P. 4
●式 典	P. 5
●要 項	P. 6
●大会コース図	P. 8
●支部予選会実施状況	P. 9
●実行委員会組織	P. 10
●実行委員会・事務局等スケジュール	P. 11
●「大文字駅伝」の誕生	P. 12



第34回京都市小学校「大文字駅伝」大会 出場校一覧

支部名	ナンバーカード	学校名	出場回数
北上	1	大 宮	2年ぶり13回目
	2	紫 竹	25年ぶり3回目
北下	3	紫 野	2年連続18回目
	4	金 閣	13年連続24回目
上京	5	翔 鸞	12年ぶり8回目
	6	仁 和	2年連続7回目
中京	7	高 倉	4年ぶり12回目
	8	朱 雀 第 三	5年連続19回目
	9	朱 雀 第 四	5年連続22回目
下京・東山	10	梅 小 路	2年ぶり9回目
	11	七 条	2年連続12回目
	12	開 晴	9年連続9回目
南	13	凌 風	2年ぶり6回目
	14	吉 祥 院	4年ぶり5回目
	15	久 世 西	3年連続13回目
左京北	16	明 徳	7年連続25回目
	17	岩 倉 南	4年連続18回目
左京南	18	錦 林	2年連続17回目
	19	養 徳	2年ぶり9回目
	20	修 学 院	3年連続26回目
山科	21	山 階 南	2年連続5回目
	22	音 羽 川	3年ぶり9回目
	23	小 野	8年連続10回目
	24	大 宅	2年ぶり11回目

支部名	ナンバーカード	学校名	出場回数
右京北	25	嵯 峨	4年ぶり20回目
	26	嵯 峨 野	5年連続24回目
	27	宇 多 野	5年連続10回目
右京南	28	太 秦	12年連続32回目
	29	西 院	6年ぶり16回目
	30	梅 津 北	2年連続15回目
	31	西 京 極	2年ぶり7回目
西京東	32	檜 原	2年ぶり18回目
	33	松 尾	3年ぶり16回目
	34	桂 徳	2年ぶり22回目
	35	桂 東	8年連続24回目
西京西	36	大 枝	3年連続10回目
	37	上 里	2年連続2回目
伏見中	38	藤 ノ 森	3年連続18回目
	39	藤 城	3年ぶり5回目
	40	砂 川	5年連続11回目
伏見東	41	醍 醐	2年連続14回目
	42	池 田 東	2年ぶり4回目
伏見西	43	伏 見 住 吉	2年連続2回目
	44	向 島 秀 蓮	初出場
	45	久 我 の 杜	3年ぶり20回目
	46	羽 束 師	3年ぶり17回目
国・私立 民族代表	47	同 志 社	5年連続5回目
	48	附 属 京 都	6年連続18回目

第34回京都市小学校「大文字駅伝」大会概要

主 催 京都市教育委員会 京都市小学校長会 京都市小学校体育研究会
京都市小学校スポーツ連盟
共 催 公益財団法人京都青少年育成スポーツ財団 京都新聞
主 管 京都市小学校体育研究会 京都市小学校スポーツ連盟
協 賛 京都桃山ライオンズクラブ

号 砲 令和2年2月9日（日）

10時35分スタート

コ ー ス 衣笠小学校前をスタートし、岡崎公園野球場をゴールとする
全8区間12,385mのコース

コンディション 天候：雪，気温：3.3℃，湿度：65%，風向：北北西
風速：4.0m/s（11時現在）

レース概要

大会当日は、早朝から雪が降り、レースの開始時間が5分ほど遅れたものの、無事、開催の運びとなった。

レースは、午前10時35分の号砲とともに、出場校48チームが元気いっぱいに衣笠小学校前をスタートした。

選手たちは左大文字が見守る西大路通を力走し、第1中継所を目指す。激しい競り合いの中、第1中継所では砂川小が先頭でたすきを渡し、修学院小、紫竹小が続く。第2中継所では同志社小、砂川小、朱雀第三小と順位が入れ替わり、その後を向島秀蓮小中、藤城小、高倉小などが追う展開となる。折り返し地点であるノートルダム学院小学校前の第3中継所を過ぎても先頭は変わらず、同志社小がレースを牽引する。

ここまで船、妙、法と大文字五山を次々と視界に入れ、また沿道の声援に後押しされながら選手たちは仲間の希望を詰め込んだたすきを賀茂川河川敷へと運んでいく。

河川敷コースに入ると、桂東小がスパートをかけて先頭に立ち、第4中継所を通過すると、桂東小、同志社小に続いて、藤城小が3位につけた。第5区で出雲路橋を渡り、コースを河川敷西岸へ移していく。その後、第5、第6中継所を通過し、第7区では荒神橋を渡り、コースを再び河川敷東岸に移し、第7中継所で最終走者にたすきを託していく。上位3校の順位はこの間変わらず、桂東小がフィニッシュテープを切り、第7回大会以来、2回目の優勝を決めた。

本大会は、雪が降る厳しい環境となったものの、選手に大きな負傷もなく、全チームが完走した大会であった。

選手はもちろんのこと、本大会までに懸命に努力を重ね、当日はチームの健闘を祈った控えの選手たち、大会には参加できなかったが選手の力走を心から応援し、選手の支えとなった全ての児童たちに心から拍手を送りたい。

また、大会実施のため、早朝からコースの整備等に御尽力いただいた大会関係者の皆様に心から感謝申し上げたい。

レース結果及び区間成績の詳細はP3のとおりである。

なお、控え選手対象のランニング教室は、大会関係者の皆様の御尽力があり、岡崎公園野球場で開催することができた。

第34回京都市小学校「大文字駅伝」大会 結果

<総合成績>

順位	ナンバー カード	学校名	タイム
1	35	桂 東	42'46"
2	47	同志社	43'21"
3	39	藤 城	43'30"
4	8	朱雀第三	44'02"
5	33	松 尾	44'07"
6	32	檜 原	44'10"
7	34	桂 徳	44'23"
8	7	高 倉	44'27"
9	21	山階南	44'32"
10	41	醍 醐	44'45"
11	45	久我の杜	44'45"
12	40	砂 川	44'55"
13	29	西 院	45'01"
14	12	開晴	45'06"
15	20	修学院	45'07"
16	2	紫 竹	45'09"
17	18	錦 林	45'10"
18	23	小 野	45'11"
19	43	伏見住吉	45'17"
20	22	音羽川	45'23"
21	24	大 宅	45'27"
22	6	仁 和	45'30"
23	19	養 徳	45'30"
24	48	附属京都	45'40"

順位	ナンバー カード	学校名	タイム
25	14	吉祥院	45'42"
26	38	藤ノ森	45'43"
27	11	七 条	45'45"
28	27	宇多野	45'50"
29	28	太 秦	45'53"
30	16	明 徳	45'59"
31	15	久世西	45'59"
32	25	嵯 峨	45'59"
33	46	羽束師	46'05"
34	44	向島秀蓮	46'06"
35	30	梅津北	46'15"
36	13	凌 風	46'18"
37	3	紫 野	46'18"
38	1	大 宮	46'18"
39	5	翔 鸞	46'18"
40	9	朱雀第四	46'36"
41	37	上 里	46'42"
42	26	嵯峨野	46'51"
43	36	大 枝	46'51"
44	10	梅小路	47'00"
45	4	金 閣	47'14"
46	42	池田東	47'21"
47	31	西京極	47'23"
48	17	岩倉南	48'14"

<区間成績(区間優勝者)>

○第1区走路

奥野 恭史 (砂 川) 記録：6分31秒

○第2区走路

田中 美愛 (同志社) 記録：6分17秒

○第3区走路

吉田 琉希 (桂 東) 記録：5分24秒

○第4区走路

新田 楓人 (桂 東) 記録：5分58秒

○第5区走路

松原 京 (桂 東) 記録：4分23秒

○第6区走路

東野谷光輝 (西 院) 記録：3分27秒

○第6区走路

金谷 悠志 (伏見住吉) 記録：3分27秒

○第7区走路

五十川千紗 (桂 東) 記録：3分32秒

○第8区走路

元村 梨那 (藤 城) 記録：6分29秒

ランニング教室

講 師 : 船越 康平 京都工学院高等学校 陸上部顧問
指 導 員 : 京都工学院高等学校陸上部員, 堀川高等学校陸上部卒業生 計 23 名
内 容 : 控え選手対象事業として, 午前 9 時 20 分～10 時 25 分に開催

- 1 挨拶, 講師・指導員の紹介 5 分
- 2 準備運動 15 分
 - ・準備体操
 - ・グループ分け・自己紹介 → 発声 (心のアップ)
- 3 講習会 35 分
 - ・動きづくり
 - ・8 の字ジョグ
 - ・50 m 走
- 4 整理運動 10 分
 - ・整理体操
 - ・ストレッチ

計 65 分

<概 要>

第 23 回大会から実施している控え選手対象事業のランニング教室をフィニッシュ地点である岡崎公園野球場において開催した。

講師に船越康平先生, 指導員に京都工学院高校陸上部員, 堀川高校陸上部卒業生の皆さんを迎え, メンタルトレーニングの要素を取り入れたテニスボールを使ったグループワークをはじめ, 競歩の動きを取り入れた運動, 最後には 50 m 走と, 約 1 時間の中で非常に充実した内容の講習を実施していただき, 関係者からも非常に高い評価をいただいた。

レース直前の緊張感ある時間帯での実施であったが, チームの枠組みを超えての実技指導によって, スポーツに対する新たな想いを持ってもらえたことと思う。

☆ ランニング教室の様子



※岡崎公園野球場にて

式典

出発式

令和2年2月9日（日） 8時35分～

京都市勧業館みやこめっせ 3階 第3展示場B面

- | | | |
|----------|-------|-----------------------|
| 1 開 | 式 | |
| 2 開会宣言 | 三上 真 | 実行委員長（京都市小学校スポーツ連盟会長） |
| 3 審判長注意 | 岡本 雅文 | 審判長 |
| 4 選手送り出し | | |
| 5 閉 | 式 | |

【選手送り出しに並ぶ選手】



閉会式

令和2年2月9日（日） 12時40分～

京都市勧業館みやこめっせ 3階 第3展示場B面



【表彰を受ける桂東の代表選手】

- | | | |
|--------|-------|------------------------|
| 1 開 | 式 | |
| 2 来賓紹介 | | |
| 3 表彰 | | |
| 4 祝辞 | 門川 大作 | 京都市長 |
| | 増山 晃章 | 公益財団法人京都青少年育成スポーツ財団理事長 |
| 5 挨拶 | 在田 正秀 | 京都市教育長 |
| 6 閉 | 式 | |

第34回 京都市小学校「大文字駅伝」大会 要項

- 1 名 称 第34回 京都市小学校「大文字駅伝」大会
- 2 趣 旨 郷土の歴史的風土に関心をもち、冬の厳しい自然のなかを全区間完走することにより、自己の役割を自覚し、協力し合う態度を育てるとともに、児童の体力向上及び学校体育の充実を図ることを目的とする。
- 3 主 催 京都市教育委員会、京都市小学校長会、京都市小学校体育研究会、京都市小学校スポーツ連盟
- 4 共 催 (公財)京都青少年育成スポーツ財団、京都新聞
- 5 主 管 京都市小学校体育研究会、京都市小学校スポーツ連盟
- 6 後 援 京都府、京都市、京都府教育委員会、(公財)京都府スポーツ協会、(公財)京都市スポーツ協会、(一財)京都陸上競技協会、京都市体育振興会連合会、KBS京都、(株)朝日新聞京都総局、NHK京都放送局、(株)共同通信社京都支局、(株)産経新聞社京都総局、(株)時事通信社京都総局、(株)中日新聞社京都支局、(株)日本経済新聞社京都支社、(株)毎日新聞社京都支局、(株)読売新聞京都総局、京都府小学校体育連盟
- 7 協 賛 京都桃山ライオンズクラブ
- 8 支 援 京都府警察本部、下鴨・上京・北・川端各警察署、京都市消防局、(一社)京都府医師会、京都市学校保健会、京都市学校医会、京都市小学校教頭会、京都市小学校PTA連絡協議会、京都市小学校野外教育研究会、京都市小学校書写教育研究会、京都市養護教育研究会、京都市小学校情報教育研究会、京都市立高等学校スポーツクラブ連絡協議会、京都市立高等学校陸上競技部員、(一社)日本競輪選手会京都支部
- 9 期 日 令和2年2月9日(日) 10時30分スタート(雨天決行)
- 10 コー ス 衣笠小学校前を出発、大文字を背景とする岡崎公園野球場までのコース。
- 11 区間と距離 8区間 < 12, 385m >
 第1区 1,881m(衣笠小学校前～佛教大学前)
 第2区 1,863m(佛教大学前～元町小学校前)
 第3区 1,730m(元町小学校前～ノートルダム学院小学校前)
 第4区 1,727m(ノートルダム学院小学校前～植物園南入口横)
 第5区 1,254m(植物園南入口横～出雲路橋南河川敷)
 第6区 1,112m(出雲路橋南河川敷～賀茂大橋南河川敷)
 第7区 1,067m(賀茂大橋南河川敷～荒神橋南河川敷)
 第8区 1,751m(荒神橋南河川敷～岡崎公園野球場)
- 12 チーム編成 監督1名(当該校教員)、選手12名(補欠4名を含む)で編成する。ただし、小規模校に限り、補欠の人数(男子2名、女子2名)を満たさない場合であっても、大会実行委員会事務局と協議のうえ、編成することができるものとする。
 男・女混合[男子…1・3・4・6区、女子…2・5・7・8区]
 (補欠…男子2名、女子2名)
- 13 参加チーム数 48チーム
 (1) 市立小学校 46チーム
 各支部の代表校(チーム)数は、2校以上4校以内とする。
 また、この支部代表校(チーム)数は、次の計算式により決定する。(四捨五入)

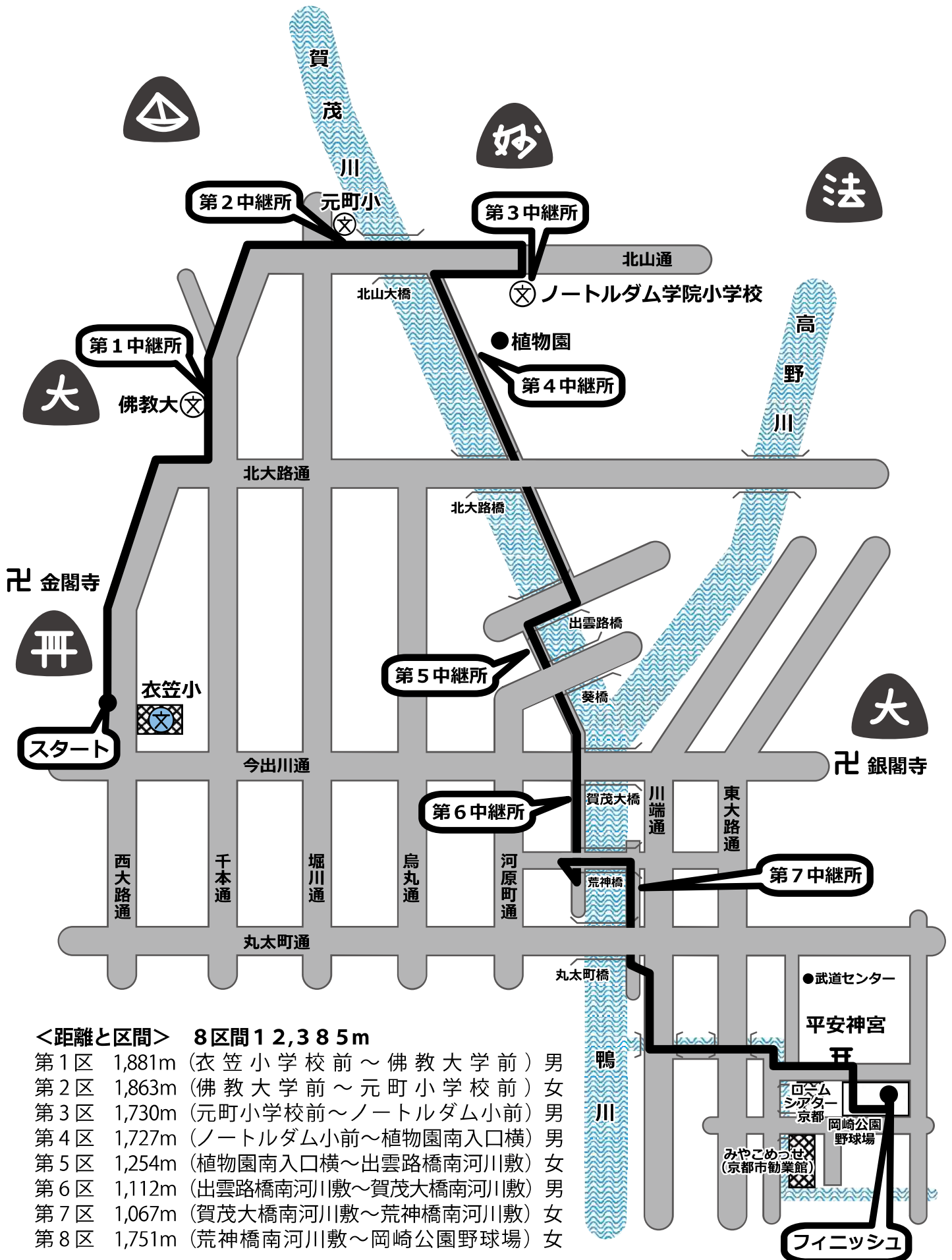
$$\frac{46 \times \text{支部6年生の児童数(4月10日現在)}}{\text{全市6年生の児童数(4月10日現在)}} = \text{支部代表数}$$

 (2) 国私立小学校・民族学校 2チーム
 ・京都市所在の国・私立小学校及び民族学校 2チーム
- 14 参加資格 京都市内の小学校・民族学校6学年に在学し、学校医及び主催者側の健康診断を受け異常が認められなかった児童、かつ保護者の同意を得た児童。ただし、5学年児童の出場については上記に準ずる。

- 15 競技規定 (1)本大会は2019年度日本陸上競技連盟競技規則、同駅伝競走規準に準じ、本大会によって定めた規定による。
(2)競走には一切伴走を認めない。(自転車による伴走も同様)
(3)引き継ぎはタスキを用いる。(主催者側が準備)
(4)選手は支給されたナンバーカード(ゼッケン)を着用する。
(5)大会運営上、区間において繰り上げ出発することがある。
(6)選手(補欠を含む)の中で、主催者側が実施する事前健康診断で異常が認められた児童は参加できない。ただし、事前健康診断で異常のあった児童の補充は新たにできる。
また、事前健康診断受診後に、体調などの急変により選手が出場を辞退した場合についても、児童を新たに補充できる。
どちらの場合についても、新たに選手に入った児童は、1月上旬までに主催者側が実施する健康診断を受けなければならない。
- 16 表彰 (1)総合10位までを表彰する。
(2)区間1位には区間賞を授与する。
(3)選手全員に参加賞を授与する。
- 17 参加申込 (1)本大会の参加申込は、申込用紙等に必要事項を記入のうえ、期日までに申し込むこと。
(申込み用紙等は校長会支部長校に送付予定)
(2)申込期日 令和元年12月2日(月) 正午必着
(3)申込先 京都市教育委員会体育健康教育室内
京都市小学校「大文字駅伝」大会実行委員会事務局
- 18 事前健康診断 令和元年12月 7日(土)：北上、南、左京北、山科、西京東、西京西、伏見中、
伏見東
令和元年12月14日(土)：北下、上京、中京、下京・東山、左京南、右京北、右京南、
伏見西、国私立・民族
(1)事前健康診断については、原則、教員引率による学校全体での受診のみとする。
(2)全体受診についてやむをえない事情が生じた際には、事前に体育健康教育室へ相談のうえ、上記いずれかの日程への振り替えを認める。
(3)個別での受診となった場合については、教員引率のうえ、管理職が同行することとする。
(4)上記に反する行為が発見された場合、受診が認められないこともあるため、注意すること。
- 19 出場校監督会議 ・第1回 令和元年12月 3日(火) 15時30分～ 総合教育センター 永松記念ホール
・第2回 令和2年 1月28日(火) 16時00分～ 総合教育センター 永松記念ホール
- 20 競技役員全体会議 令和2年1月20日(月) 全体会 16時30分～ 総合教育センター 永松記念ホール
部会 17時30分～ 総合教育センター 各研修室
- 21 閉会式(表彰式) 令和2年2月9日(日) 12時40分～ 京都市勧業館みやこめっせ 第3展示場B面
- 22 その他 (1)レース中に生じた事故については、救急医療のみ大会本部で行う。
(2)参加校は、8名以上の自主整理員(役割…沿道整理、人選…校長・監督・競技役員予定者を除く教職員・保護者・地域各種団体等の方)を出すこと。あわせて、別途募集する競技役員の派遣については、(学級数×4分の1)名以上を目安とし、積極的に協力すること。
(3)大会を円滑に運営するため、主催者側等で構成する京都市小学校「大文字駅伝」大会実行委員会を設置し、下記に事務局を置く。
(4)コースの下見を行う場合は、第1回出場校監督会議後から可とし、必ず学校長の承認のもと、交通ルールを守り、「歩いて」行うこと。
(※ジョギングなど、走ることは全コースについて不可)
(5)出場校監督会議での決定事項を遵守すること。

京都市教育委員会体育健康教育室内
京都市小学校「大文字駅伝」大会実行委員会事務局
TEL：075-708-5322 FAX：075-551-9551

第 34 回京都市小学校「大文字駅伝」大会コース図



第34回京都市小学校「大文字駅伝」大会 支部予選会実施状況

○実施期間 令和元年10月24日（木）～11月18日（月）

○参加者数 約2,500人

支部	予選日	実施場所	コース	本大会出場枠
北上	10月31日（木）	鷹峯小学校敷地内	グラウンド周回コース	2
北下	10月29日（火）	賀茂川河川敷	北大路橋～出雲路橋 周回コース	2
上京	11月6日（水）	賀茂川河川敷	北大路橋～出雲路橋 周回コース	2
中京	10月30日（水）	宝ヶ池公園	宝ヶ池公園周回コース	3
下京・東山	11月1日（金）	西京極競技場	補助競技場・運動公園内周回コース （補助競技場にて中継）	3
南	11月8日（金）	西京極競技場	補助競技場・運動公園内周回コース （補助競技場にて中継）	3
左京北	11月6日（水）	宝ヶ池公園	宝ヶ池公園周回コース	2
左京南	11月14日（木）	賀茂川河川敷	北大路橋～出雲路橋 周回コース	3
山科	11月7日（木）	疏水公園	安朱橋～柳山橋 周回コース	4
右京北	10月24日（木）	嵐山東公園	嵐山東公園内 周回コース	3
右京南	11月18日（月）	西京極競技場	補助競技場・運動公園内 周回コース （補助競技場にて中継）	4
西京東	11月7日（木）	西京極競技場	補助競技場・運動公園内 周回コース （補助競技場にて中継）	4
西京西	11月6日（水）	小畑川河川敷 （福西小、西側）	福西小学校西側周回コース	2
伏見中	10月31日（木）	桃山城運動公園	多目的グラウンド・運動公園内 周回コース （多目的グラウンドにて中継）	3
伏見東	11月6日（水）	山科川沿道	池田小学校～山科川沿道周回～池田小学校	2
伏見西	10月29日（火）	元向島南小学校	向島南小学校～宇治川左岸堤防～向島南小学校周回コース	4
国・私・民	11月9日（土）	宝ヶ池公園	宝ヶ池公園周回コース	2

※本大会出場枠数は、大会要項による。

第34回 京都市小学校「大文字駅伝」大会 実行委員会

<委員長> 三上 真 (大 塚)

<副委員長> 杉森 德行 (養 正), 長谷川 正 (柊 野), 平塚修一郎 (御所南)

[総務部]

<総務部長> 芝原 理 (桃山南)

<同副部長> 谷本 史朗 (砂 川) 【庶務】

佐野 丈夫 (西 野), 森川 和樹 (梅津北) 【役員編成】

香村 明寛 (池 田) 【役員】, 山口 昌則 (梅 津) 【記録】

藤内みゆき (石 田), 今村ひろみ (西京極) 【式典】

和田夕美子 (宇多野), 岩岡 洋史 (光 徳) 【控え選手対象事業】

庶務	渉外・報道	◎事務局
	会議等招集	◎畑中 喜行 (祥 栄), 北田 朋也 (葵)
	資料・要項	◎事務局
	広 報	◎事務局
	会 計	◎事務局
役員編成	役 員	◎北村 晃 (桃山東), 谷垣 賢 (小 野), 嶋本 千人 (大將軍)
	式 典	◎井出 浩史 (大 藪)
	式 典	◎村山 雅彦 (嵐 山), 木村 卓馬 (桃山), 村中 恵美子 (修学院第二)
	会 場 設 営	◎茂崎 聡 (上鳥羽)
	医務・選手健康管理	◎林 鐘声 (学校医会)
輸 送		◎沖出由美子 (桂 徳), 茶木 恭子 (太 秦)
		◎日吉 肇 (大原野), 平野 一紀 (修学院第二)
	控え選手対象事業	◎徳田 喜則 (嵯 峨), 河村 嘉訓 (大原野)

[競技部]

<競技部長> 竹村 知子 (葛 野)

<同副部長> 坂井 仁 (勸 修) 【競技】, 岡本 雅文 (明 徳) 【審判】

水田 眞吾 (新 林) 【施設用具】

競技部	競 技	◎河田 理江 (開 晴), 各務 勲 (西京極西)
	審 判	◎小嶋 陽子 (大 塚), 田中 愛莉 (桂 東)
	施 設 用 具	◎太田 隆司 (新 林), 佐賀 一俊 (醍 醐), 宮本 真行 (御所南)
	記 録	◎藤田 勝也 (二条城北), 山下 沙織 (久世西)

※ ◎印は主任, 事務局は体育健康教育室内

構成…44名, (内訳) 委員長・副委員長…4名, 総務部…27名, 競技部…13名

第34回京都市小学校「大文字駅伝」大会実行委員会・事務局等スケジュール

月	日	曜	時 間	内 容	場 所 等	主な内容
6	14	金	18:30	準備委員会	体育健康教育室	大会要項検討, 運営企画委員会メンバー選出等
7	5	金	15:00	指導者講習会	総合教育センター	第1部 講演「傷害を未然に防ぐためのスポーツ医学・基礎知識について」 講師 森原 徹 氏〔京都府立医科大学大学院医学研究科 准教授 運動器機能再生外科学（整形外科学教室）講師 医学博士〕 第2部 講演「児童期の成長とパフォーマンスの関係～疾走動作の特徴も含めて考える～」 講師 小山 宏之 氏〔京都教育大学教育学部体育学科 准教授〕
7	12	金	10:00	運営企画委員会①	総合教育センター	大会実施案・実行委員会メンバー選出
8	26	月	18:30	実行委員会①	総合教育センター	大会実施案・今後の日程
9	26	木	18:30	役員編成会議①	総合教育センター	役員募集について
10	24	木	—	支部予選会①	嵐山東公園	右京北
10	25	金	—	支部予選会②	賀茂川河川敷	北下
10	29	火	—	支部予選会③	池田小, 元向島南小	伏見東, 伏見西
10	29	火	18:30	運営企画委員会②	総合教育センター	支部予選状況, 監督会議①内容検討
10	30	水	—	支部予選会④	宝ヶ池公園	中京
10	31	木	—	支部予選会⑤	鷹峯小, 伏見桃山城運動公園	北上, 伏見中
11	1	金	—	支部予選会⑥	西京極総合運動公園	下京・東山
11	6	水	—	支部予選会⑦	賀茂川河川敷, 小畑川河川敷	上京, 西京西
11	7	木	—	支部予選会⑧	宝ヶ池公園, 疏水公園, 西京極総合運動公園	左京北, 山科, 西京東
11	8	金	—	支部予選会⑨	西京極総合運動公園	南
11	9	土	—	支部予選会⑩	宝ヶ池公園	国・私・民
11	14	木		支部予選会⑪	賀茂川河川敷	左京南
11	18	月	18:30	実行委員会②	総合教育センター	支部予選状況, 監督会議①内容検討
11	18	月	—	支部予選会⑫	西京極総合運動公園	右京南
12	2	月	正午	出場申込〆切	—	出場登録メンバー提出
12	3	火	15:30	出場校監督会議①	総合教育センター	コース説明, 連絡事項, スタート位置抽選 ※日時は予定
12	7	土	13:30	事前健康診断①	元生祥小学校	
12	14	土	13:30	事前健康診断②	元生祥小学校	
12	16	月	18:30	役員編成会議②	体育健康教育室	
1	10	金	18:00	実行委員会③	総合教育センター	スタート位置, 主任・全体・監督②会議内容検討 ※日時は予定
			18:30	総括主任会議	総合教育センター	コース・審判説明, 各部打合せ ※日時は予定
1月下旬			—	審判ハンドブック完成	—	
			—	プログラム完成	—	
1	20	月	16:30	競技役員全体会議	総合教育センター	コース・審判説明
			17:30	全体会終了後各担当者会議		各部打合
			18:00	自主整理員打合		自主整理員打合
1	28	火	16:00	出場校監督会議②	総合教育センター	集合時間・オーダー変更方法確認, 表彰式実施要領 ※日時は予定
1	31	金	17:00まで	オーダー締切	—	オーダー提出
2	8	土	—	会場設営	京都市勧業館みやこめっせ	無線テスト
2	9	日	10:30	スタート	衣笠小学校前	
			12:40	閉会式	京都市勧業館みやこめっせ	
3月中旬			18:30	実行委員会④	総合教育センター	課題が生じた場合のみ。※34回大会は開催なし。



「大文字駅伝」の誕生

「KYOTO」は、日本が世界に誇る観光文化都市で、国内はもちろん、世界各地から多くの人々が訪れており、人々にとって歴史と伝統のあるあこがれの響きをもった町です。

「大文字駅伝」は、京都の子ども達が郷土の素晴らしい自然や歴史・文化をスポーツを通じて一層理解し、生涯の思い出とする大会ができないかという発想から始まりました。

「エキデン」は、今や世界の共通語ですが、一本のたすきにチーム全員の心を繋いで走るという駅伝の魅力が、次第にスポーツを愛する世界の人々の心をうち、今日の隆盛につながっていると思われます。

京都は、大正6年に日本で最初に行われた駅伝大会である「東海道駅伝競走」のスタート地点となった土地であり、現在でもさまざまな大会が行われている“駅伝のメッカ”です。毎年、郷土や母校の期待を背負ってひたむきに都大路を走る選手の姿が多くの人々の感動を呼んでいます、そういう意味では京都は駅伝の魅力の発信基地でもあるといえます。

こうして、京都の自然や歴史・文化の一層の理解と「駅伝」というスポーツが結び付き、体力の向上や社会的態度の育成など、児童の健全育成を図り、生涯の思い出となるような大会を開催しようということが決まりました。

「大文字駅伝」という名称は、京都五山の送り火にちなんでいます、それは「鳥居」から「大文字」まで、五山の麓を走りながら、京都の歴史や文化について理解を深めてほしいという願いがあったことによるもので、大会のコース設定の手掛かりにもなりました。

このような経過を経て、昭和62年2月15日午前11時、京都府警察本部と関係各署の大きなお力添えのもと、全国に先駆け一般道路を使用した小学生による駅伝競走としてスタートしました。

こうして始まった「大文字駅伝」大会も、関係機関の方々の多大なるご理解とご協力によって今大会までに回を重ねてきました。その中には、京都市の小学生のみならず、姉妹都市の小学生も招待して国際交流を深めた第8回大会や、阪神・淡路大震災からの復興を願って、神戸市の小学生を招待して行った第10回大会もありました。このように回を重ねるごとに、多くの市民の皆様から応援を得つつ、時代を反映して変化し、今や京都の冬の風物詩ともいえる大会に成長してきた「大文字駅伝」大会ですが、「子ども達の生涯の思い出となる大会になってほしい」という当初の思いは現在でも生き続けています。



大文字駅伝 記念像